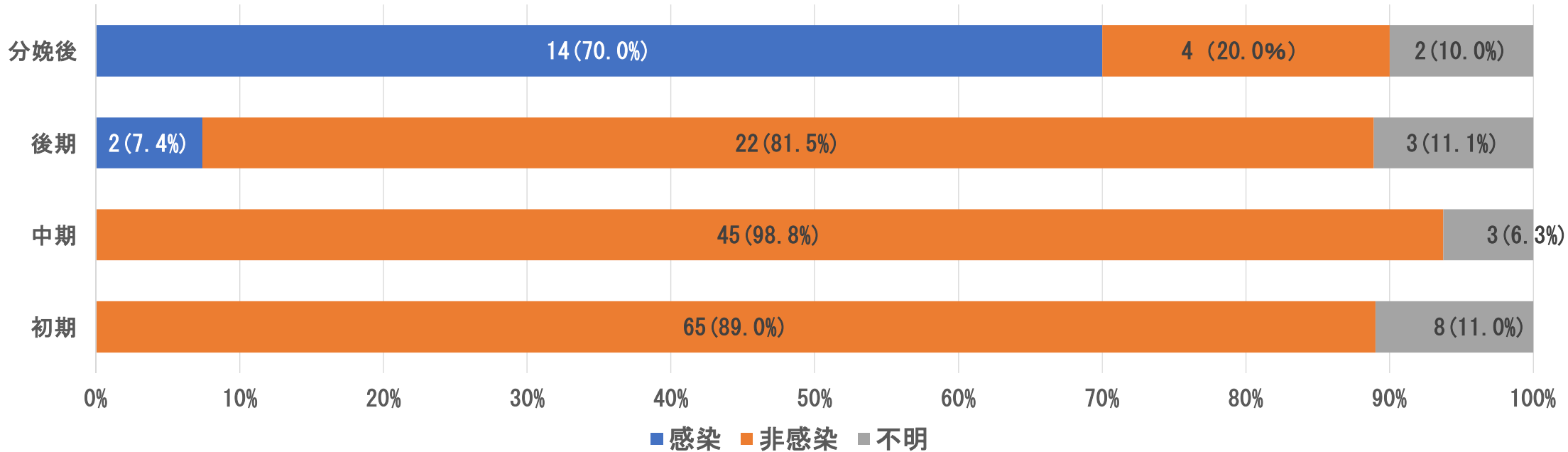


妊娠中・分娩後にHIV感染が判明した272例 の臨床的疫学的解析

奈良県総合医療センター 産婦人科¹⁾、厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV感染者の妊娠・出産・予後に関する疫学的・コホートの調査研究と情報の普及啓発法の開発ならびに診療体制の整備と均てん化に関する研究」班²⁾

杉浦敦^{1) 2)}、竹田善紀^{1) 2)}、市田宏司²⁾、中西美紗緒²⁾、箕浦茂樹²⁾、松田秀雄²⁾、高野政志²⁾、桃原祥人²⁾、小林裕幸²⁾、佐久本薫²⁾、太田寛²⁾、石橋理子^{1) 2)}、藤田綾^{1) 2)}、高橋尚子²⁾、吉野直人²⁾、山田里佳²⁾、定月みゆき²⁾、田中瑞恵²⁾、外川正生²⁾、喜多恒和^{1) 2)}

母子感染例



- ・ 母子感染は**全て**、**妊娠後期・分娩後に感染判明した症例**から生じている
→**妊娠中期までに感染判明した例では、母子感染は生じていない**
- ・ 分娩後に判明した14例中6例が、**妊娠初期スクリーニング検査は陰性であった**